

【 投薬 】

631 単なる慢性肝炎に対するウルソデオキシコール酸の投与量について

《令和7年7月31日》

○ 取扱い

単なる慢性肝炎に対するウルソデオキシコール酸（ウルソ錠等）の投与量は、原則として300 mgまで認められる。

○ 取扱いを作成した根拠等

慢性肝炎については、ウルソデオキシコール酸（ウルソ錠等）の添付文書に「慢性肝疾患における肝機能の改善」に対する用法・用量として、「通常、成人1回50 mgを1日3回経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。」と記載されている。

以上のことから、単なる慢性肝炎に対するウルソデオキシコール酸（ウルソ錠等）の投与量は、原則として300 mgまで認められると判断した。